

大監第 9 号
令和4年 8月25日

大台町長 大 森 正 信 様

大台町監査委員 野 呂 茂 生

大台町監査委員 中 道 剛 士

令和3年度大台町水道事業会計決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和3年度大台町水道事業会計決算及び関係書類、その他法令で定める書類について審査をしたので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

審査の意見及び概要

別添、令和3年度大台町水道事業会計決算意見書のとおり

令和3年度

大台町水道事業会計決算審査意見書

大台町監査委員

令和4年8月

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の方法	1
第 3	審査の結果	1
第 4	審査の概要	1
1	業務実績について	2
2	予算の執行状況について	3
(1)	収益的収入	3
(2)	収益的支出	4
(3)	資本的収入	4
(4)	資本的支出	5
3	経営状況について	5
(1)	経営成績	5
(2)	経営内容	7
ア	給水原価	7
イ	施設利用率	7
ウ	起債の状況	8
	むすび	8

令和3年度 大台町水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

令和3年度大台町水道事業会計決算

第2 審査の方法

審査にあたっては、大台町水道事業会計決算書、決算附属書類が、地方公営企業法、その他関係法令に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうか、経営の基本原則に従って運営されているかについて審査を行った。

第3 審査の結果

審査に付された決算書及び決算附属書類は、関係法令に基づいて作成され、その他の関係諸帳簿の記載金額といずれも符合し、計数は正確であり、かつ事業の経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認められた。

第4 審査の概要

審査の概要は次のとおりである。

水 道 事 業 会 計

1 業務実績について

(1) 令和3年度の主な業務実績は、次のとおりである。

(業務実績)

項目	単位	令和3年度	令和2年度	比較	
				対前年度比較	増減率(%)
年 度 末 給 水 人 口	人	8,569	8,806	△ 237	△ 2.7
年 度 末 給 水 戸 数	戸	4,007	4,089	△ 82	△ 2.0
年 間 配 水 量	m ³	1,478,430	1,601,306	△ 122,876	△ 7.7
1 日 最 大 配 水 量	m ³	4,598	4,987	△ 389	△ 7.8
1 日 平 均 配 水 量	m ³	4,050	4,387	△ 337	△ 7.7
有 収 水 量	m ³	1,087,422	1,114,552	△ 27,130	△ 2.4
1 日 平 均 配 有 収 水 量	m ³	2,979	3,054	△ 75	△ 2.5
有 収 率	%	73.55	69.60	3.95	5.7

※注 有収率は、年間配水量に対する年間有収水量の割合

ア 給水人口・給水戸数

給水人口は、8,569人で、前年度に比べ237人の減少、給水戸数は、4,007戸で、前年度に比べ82戸減少している。

イ 年間配水量

年間配水量は、1,478,430 m³で、前年度に比べ、122,876 m³減少している。

ウ 1日最大配水量・1日平均配水量

1日最大配水量は4,598 m³で、前年度に比べ389 m³減少、1日平均配水量は4,050 m³で、前年度に比べ337 m³減少している。

エ 有収水量・有収率

年間有収水量は1,087,422 m³で、前年度に比べ27,130 m³減少している。有収率は、73.55%で、前年度の69.60%に比べ3.95ポイント増加している。

(2) 主な建設改良事業

工 事 名	工 事 費	主 な 内 容	着工年月日	竣工年月日
日進川添・三瀬谷連絡管路 基本設計業務委託	3,410,000	連絡管路基本設計業務 N=1.0式	令和 3年 4月23日	令和 4年 3月15日
国道42号(下三瀬地内) 配水管布設工事 第1工区	7,030,100	配水管布設 HPPE φ75 L=111.4m	令和 3年 4月 1日	令和 3年 9月15日
国道42号(下三瀬地内) 配水管布設工事 第2工区	2,699,400	配水管布設 HPPE φ75 L=97.4m	令和 3年10月 7日	令和 4年 2月28日
長ヶ地内配水管布設替工事 第4工区	9,684,400	配水管布設替 HPPE φ75 L=257.9m HPPE φ50 L= 42.8m	令和 3年 8月 5日	令和 3年11月 1日
長ヶ地内配水管布設替工事 第5工区	11,207,900	配水管布設替 HPPE φ75 L=283.9m	令和 3年12月 3日	令和 4年 3月 3日
県道大台宮川線(天ヶ瀬地内) 配水管布設替工事	4,970,900	配水管布設替 HPPE φ100 L=115.4m	令和 3年11月 4日	令和 4年 1月24日
町道月ノ浦線配水管布設工事	9,948,400	配水管布設 HPPE φ75 L=429.3m	令和 3年12月 3日	令和 4年 3月28日

2 予算の執行状況について

(1) 収益的収入

区分	令和3年度		比較 (B)-(A)	2年度決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 水道事業収益	460,043,000	456,778,915	△ 3,264,085	455,412,860	99.3	0.3	100.0
第1項 営業収益	211,875,000	209,716,542	△ 2,158,458	213,095,068	99.0	△ 1.6	45.9
第2項 営業外収益	248,168,000	247,062,373	△ 1,105,627	242,317,792	99.6	2.0	54.1

収益的収入については、予算額4億6,004万3,000円に対し、決算額は4億5,677万8,915円で執行率は99.3%であった。

(2) 収益的支出

(単位：円：消費税込)

区分	令和3年度		比較 (A)-(B)	2年度決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第2款 水道事業費用	509,010,000	501,640,725	7,369,275	522,476,736	98.6	△ 4.0	100.0
第1項 営業費用	465,114,000	459,227,980	5,886,020	479,741,252	98.7	△ 4.3	91.5
第2項 営業外費用	43,746,000	42,407,201	1,338,799	42,705,388	96.9	△ 0.7	8.5
第3項 特別損失	150,000	5,544	144,456	30,096	3.7	△ 81.6	0.0

収益的支出については、予算額5億901万円に対し、決算額は5億164万725円で執行率は98.6%であった。

(3) 資本的収入

(単位：円：消費税込)

区分	令和3年度		比較 (B)-(A)	令和2年度 決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 資本的収入	257,248,000	268,699,000	11,451,000	302,588,106	104.5	△ 11.2	100.0
第1項 工事負担金	—	—	—	6,279,106	—	皆減	—
第2項 企業債	31,000,000	41,200,000	10,200,000	52,400,000	132.9	△ 21.4	15.3
第3項 出資金	223,248,000	224,379,000	1,131,000	211,909,000	100.5	5.9	83.5
第4項 他会計負担金	3,000,000	3,120,000	120,000	—	—	皆増	—
第8項 基金繰入金	—	—	—	32,000,000	—	皆減	—

資本的収入については、予算額2億5,724万8,000円で、決算額は2億6,869万9,000円で、主な内訳は、水道企業債4,120万円、一般会計からの出資金2億2,437万9,000円と他会計負担金312万円である。

(4) 資本的支出

(単位：円：消費税込)

区分	令和3年度		比較 (B)-(A)	令和2年度 決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 資本的支出	408,396,000	418,831,136	△ 10,435,136	446,445,864	102.6	△ 6.2	100.0
第1項 建設改良費	37,567,000	49,003,590	△ 11,436,590	91,064,460	130.4	△ 46.2	11.7
第2項 企業債償還金	367,329,000	367,327,546	1,454	352,881,404	100.0	4.1	87.7
第3項 基金積立金	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000	100.0	0.0	0.6
第4項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	—	0.0	皆増	0.0

資本的支出については、予算額 4 億 839 万 6,000 円に対し、決算額 4 億 1,883 万 1,136 円で執行率は 102.6%である。

資本的収支において生じた不足額、1 億 5,013 万 2,136 円は、当該年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 445 万 100 円及び当該年度分損益勘定留保資金 1 億 4,568 万 2,036 円にて補てんしている。

3 経営状況について

(1) 経営成績

事業収入は、4 億 3,770 万 4,364 円である。

主な内容は、営業収益の給水収益（水道使用料）が 1 億 8,872 万 2,320 円、営業外収益の一般会計からの補助金 1 億 4,085 万 5,000 円（企業債利息、人件費、減価償却費に要する経費に充当）、長期前受金戻入 1 億 606 万 922 円である。

収益的支出は、4 億 8,714 万 7,027 円である。

主な内容は、南勢水道からの受水等の原水及び浄水費が 7,407 万 3,237 円、修繕費等の配水及び給水費が 2,153 万 6,244 円、人件費等の総係費が 4,519 万 8,477 円、減価償却費が 3 億 369 万 9,929 円、支払利息及び企業債取扱諸費が 3,875 万 1,701 円であり、収支差引額 4,944 万 2,663 円が当年度純損失となった。

(事業収入)

事 項	令和 3 年度	令和 2 年度	(単位：円：消費税抜) 比 較	
			増 減	比 率 (%)
1. 水道事業収益	437,704,364	436,034,205	1,670,159	100.38
(1) 営業収益	190,652,928	193,726,589	△ 3,073,661	98.41
1. 給水収益	188,722,320	192,149,880	△ 3,427,560	98.22
2. 受託工事収益	12,083	52,584	△ 40,501	22.98
3. その他営業収益	1,918,525	1,524,125	394,400	125.88
(2) 営業外収益	247,051,436	242,307,616	4,743,820	101.96
1. 受取利子及び配当金	999	5,398	△ 4,399	18.51
2. 他会計補助金	140,855,000	124,776,000	16,079,000	112.89
3. 長期前受金戻入	106,060,922	117,420,729	△ 11,359,807	90.33
4. 雑収益	134,515	105,489	29,026	127.52

(事業費)

事 項	令和 3 年度	令和 2 年度	(単位：円：消費税抜) 比 較	
			増 減	比 率 (%)
1. 水道事業費用	487,147,027	511,531,083	△ 24,384,056	95.23
(1) 営業費用	448,389,782	469,606,599	△ 21,216,817	95.48
1. 原水及び浄水費	74,073,237	64,117,903	9,955,334	115.53
2. 配水及び給水費	21,536,244	27,081,631	△ 5,545,387	79.52
3. 総係費	45,198,477	41,138,859	4,059,618	109.87
4. 減価償却費	303,699,929	304,688,549	△ 988,620	99.68
5. 資産減耗費	3,881,895	32,579,657	△ 28,697,762	11.92
6. その他営業費用	0	0	0	—
(2) 営業外費用	38,751,701	41,894,388	△ 3,142,687	92.50
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	38,751,701	41,894,388	△ 3,142,687	92.50
2. 雑支出	0	0	0	皆減
(3) 特別損失	5,544	30,096	△ 24,552	18.42
1. 過年度損益修正損	5,544	30,096	△ 24,552	18.42
2. その他特別損失	—	—	—	—

次に、水道事業にあつては、独立採算制を建前として経営されているが、経常収支比率を見ると 89.85%と前年度に比べて 4.6 ポイント上がっているが、100%以上が望ましく、類似団体と比べても大きく下回り、赤字経営を示している。

区 分	算 式	令和3年度	令和2年度	類似団体
経常収支比率 (%)	経常収益／経常費用×100	89.85	85.25	105.3

(2) 経営内容

ア 給水原価

給水原価は、経常費用から受託工事収益等を控除したものを年間総有収水量で除したものであるが、350.33 円と前年度に比べて下がっているが、類似団体と比べると約 1.6 倍となっている。

区 分	令和3年度	令和2年度	類似団体
給水原価（1 m ³ 当たりの原価）円	350.33	353.44	225.09

イ 施設利用率

施設利用率は、71.68%となっている。概ね効率的な施設利用がなされていると思われる。また、類似団体に比べても高い数値となっている。

区 分	算 式	令和 3 年度	令和 2 年度	類似団体
施設利用率 (%)	1日平均配水量／1日配水能力×100	71.68	77.65	49.40

ウ 起債の状況

新たな起債の発行は、4,120万円である。残高は35億7,182万5,096円となっており、今後の償還については、起債償還ピーク期間は、令和5年度まで継続する見込みである。

単位：千円、%

区 分	令和2年度末	令和3年度中 増減額		令和3年度末	増減額	増減率
		発行額	償還額			
1 水道事業会計	3,897,953	41,200	367,328	3,571,825	△ 326,128	△ 8.4
過疎対策事業債	1,208,291	12,600	203,494	1,017,397	△ 190,894	△ 15.8
辺地対策事業債	9,348	0	1,799	7,549	△ 1,799	△ 19.2
簡易水道事業債	2,592,914	0	162,035	2,430,879	△ 162,035	△ 6.2
水道事業債	83,800	28,600	0	112,400	28,600	34.1
公営企業施設等整理債	3,600	0	0	3,600	0	0.0
合 計	3,897,953	41,200	367,328	3,571,825	△ 326,128	△ 8.4

む す び

業務実績は、給水人口が8,569人で前年度に比べ237人減少し、給水戸数は4,007戸で前年度に比べ82戸減少している。今後も給水戸数は減少の傾向にある。

配水量については、1,478,430 m³で前年度に比べ、122,876 m³減少しており、有収水量は、1,087,422 m³で、前年度に比べ27,130 m³減少している。有収率は73.55%と前年度に比べて3.95ポイント上がっている。引き続き、有収率の向上に向けて努められたい。

経営状況は、総収益4億3,770万4,364円に対し、総費用4億8,714万7,027円で、4,944万2,663円が当該年度純損失となった。経営状況については、起債償還ピーク期間が、令和5年度まで継続する見込みであることと、人口減少や漏水などによる有収水量の減少傾向から、料金収入の増収が期待できないことなどから欠損金は増加することが予想される。加えて、施設の更新や管路の耐震化など取り組む課題も多く厳しい経営状況にあると考えられる。

しかしながら、町民に安全で安心して飲めるおいしい水を継続して供給できるように今後もより一層、効率的、効果的な運営に取り組まれたい。